

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	ヴォーカル科 (ヴォーカル&ダンスコース)	夜・通信	600 単位時間	160 単位時間	
	ヴォーカル科 (ヴォーカル&楽器コース)	夜・通信	600 単位時間	160 単位時間	
	ヴォーカル科 (ヴォーカル&作詞作曲コース)	夜・通信	600 単位時間	160 単位時間	
	ヴォーカル科 (ヴォーカル&演歌謡曲コース)	夜・通信	600 単位時間	160 単位時間	
	ミュージシャン科	夜・通信	637 単位時間	160 単位時間	
	ダンス科	夜・通信	583 単位時間	160 単位時間	
	K-POP エンタテインメント科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	夜・通信	412 単位時間	160 単位時間	
	K-POP エンタテインメント科 (K-POP ビジネスコース)	夜・通信	412 単位時間	160 単位時間	
	音楽ビジネス科 (コンサート・ライブスタッフコース)	夜・通信	564 単位時間	160 単位時間	
	音楽ビジネス科 (アーティストマネージャーコース)	夜・通信	564 単位時間	160 単位時間	
	音楽ビジネス科 (ラジオ・映像クリエイターコース)	夜・通信	640 単位時間	160 単位時間	
	音響・照明科 (PA 音響エンジニアコース)	夜・通信	412 単位時間	160 単位時間	
	音響・照明科 (照明エンジニアコース)	夜・通信	450 単位時間	160 単位時間	
	サウンドクリエイター科 (レコーディングエンジニアコース)	夜・通信	526 単位時間	160 単位時間	
	サウンドクリエイター科 (作曲・編曲コース)	夜・通信	602 単位時間	160 単位時間	
	英語エンタテインメント科 (英語&ダンスコース)	夜・通信	412 単位時間	160 単位時間	
	英語エンタテインメント科 (英語&ヴォーカルコース)	夜・通信	412 単位時間	160 単位時間	

	英語エンタテインメント科 (英語&ミュージシャンコース)	夜・ 通信	412 単位時間	160 単位時間	
	英語エンタテインメント科 (英語&音楽ビジネスコース)	夜・ 通信	412 単位時間	160 単位時間	
	研究科 (デビュー・プロ活動コース)	夜・ 通信	274 単位時間	80 単位時間	
	研究科 (インストラクターコース)	夜・ 通信	296 単位時間	80 単位時間	
	研究科 (就職・資格取得コース)	夜・ 通信	164 単位時間	80 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校 HP 「情報公開」にて公表

<http://show-net.jp/information.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	国際総合学園

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校 HP「情報公開」にて公表 <a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>
--

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	団体職員	2019年6月1日～ 2023年5月31日	政策的観点
非常勤	会社役員	2019年6月1日～ 2023年5月31日	教育統括的観点
非常勤	大学教授	2019年6月1日～ 2023年5月31日	教育統括的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名(学部等名)	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>「全学生のプロデビュー・プロ活動・専門職就職を実現する」を理念とし、音楽、ダンス、エンタテインメント分野の専門学校として、「知識」「技術」の習得や、国際的にも優れた才能を發揮できる人材育成を目指す。そのために実務経験を持った教員による講義・演習・実習を重視した教育を行う。</p> <p><b>【授業計画(シラバス)の作成過程】</b></p> <p>学校主催の全講師会にて、学校の運営理念、教育方針の共有を行い、その後学科ごとに科別の個別会を実施。学校が育成すべく人物像の共有を行う。 シラバス作成においては、学校所定のシラバス表に記入する。</p> <p><b>【授業計画(シラバス)の作成・公表時期】</b></p> <p>毎年3月末までにシラバスを作成している。 公表時期については毎年4月1日を予定。</p>	
授業計画書の公表方法	現在は、学校への閲覧・入手申請をし、学生・保護者だけでなく、広く一般の方が閲覧・入手できる状況にしている。2020年度からはHPの「情報公開」にて全科目公表することとしている。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価については下記の通り定めている。(学生の手引き P13 記載)</p> <p>●成績評価</p> <p>①成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断する。</p> <p>②評価方法</p> <p>a. 成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p> <p>b. E評価の科目は追試験を受験しなければならない。</p> <p>c. 出席率80%未満の科目はE評価となり、追試験を受験し合格しなければならない。</p> <p>d. 毎日行われる朝礼やHRの時間も、社会人として規律・ルールを守る人間力教育のため、授業内指導の一環とする。したがって、欠課・欠席の時間は成績・出席率に反映される。</p> <p>③成績表</p> <p>成績表は各学期末に作成し、保護者宛に郵送する。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

指標の算出方法は以下の通りである。

S(秀) = 5、A(優) = 4、B(良) = 3、C(可) = 2、D(可) = 1 とし、科目数で割ることにより評定平均を算出する。また、数値ポイントは小数点第三位を四捨五入し、小数点第二位まで求めることとする。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

学校 HP「情報公開」にて公表  
<http://show-net.jp/information.html>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針(ディプロマポリシー)については、学校の教育理念である「全学生のプロデビュー・プロ活動・専門職就職を実現する」のもと、音楽、ダンス、エンタテインメント分野の「知識」「技術」の習得、また、国際的にも優れた才能を発揮できる人間性を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するものとする。

また、卒業の認定基準については下記条件を満たす者を卒業認定とする。  
詳細は学生の手引き P14 に記載。

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
- 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚)  
(就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
- 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得
- 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定手順

卒業認定方針のもと、上記 1～4 を満たす者は卒業を認定し、学位を授与する。  
いずれかの条件に満たない場合は、追試験・認定試験・補講・卒業進級判定会議を行い、条件を満たすことで卒業を認定する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

学校 HP「情報公開」学生の手引き P5 以降 にて公表  
<http://show-net.jp/information.html>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校
設置者名	学校法人国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>
財産目録	<a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>
事業報告書	<a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ヴォーカル科 (ヴォーカル&ダンスコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  1,831 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年			369時間	348時間	1114時間	-	-
			1,831 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		3人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 専門性の高いヴォーカリストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。

<p>●進級認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p> <p>●卒業認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得</p> <p>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</p> <p>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</p> <p>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ヴォーカル科 (ヴォーカル&楽器コース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数  1,831 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年			369時間	348時間	1114時間	-	-
			1,831 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		5人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いヴォーカリストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得
4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等

(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (%)	2人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ヴォーカル科 (ヴォーカル&作詞作曲コース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,831 単位時間/単位	369時間	348時間	1114時間	-	-
			1,831 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		14人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
---------------------------

(概要)  
 専門性の高いヴォーカリストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。

成績評価の基準・方法

(概要)  
 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。  
 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。  
 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。  
 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

卒業・進級の認定基準

(概要)  
 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。  
 詳細は学生の手引き P14 に記載。

●進級認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
  - 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚)  
(就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
  - 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得
- 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

学修支援等

(概要)  
 ■クラス担任制 有  
 ■個別相談・指導等の対応  
 長期欠席者への指導等の対応  
 補講授業、課題提出

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	1人 (20%)	3人 (60%)	1人 (20%)

(主な就職、業界等)  
 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界

(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	1人	9.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更・精神疾患のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ヴォーカル科 (ヴォーカル&演歌歌謡曲コース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,831 単位時間/単位	369時間	348時間	1114時間	-	-
			1,831 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		0人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いヴォーカリストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P14 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</li> <li>2、成績評価が全て D 以上</li> <li>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol> <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</li> <li>2、成績評価が全て D 以上</li> <li>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</li> <li>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</li> </ol> </li> <li>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)
(主な就職、業界等)			
音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
(就職指導内容)			
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	1 人	5.9%
(中途退学の主な理由)		
進路変更・精神疾患のため		

(中退防止・中退者支援のための取組)  
 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ミュージシャン科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1,830 単位時間/単位	369時間	348時間	1113時間	-	-
			1830 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	11人	0人	1人	6人	7人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。

成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。  
 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。  
 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。  
 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P14 に記載。

●進級認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得

3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0%)	2人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	ダンス科	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2年	昼間	1,833 単位時間/単位	369時間	348時間	1116時間	-	-
			1833 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	14人	0人	1人	6人	7人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要） 専門性の高いダンサーを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率85%以上</li> <li>2、成績評価が全てD以上</li> <li>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol> <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率85%以上</li> <li>2、成績評価が全てD以上</li> <li>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</li> <li>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得</li> </ol> </li> <li>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol>
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■クラス担任制 有</li> <li>■個別相談・指導等の対応</li> </ul> <p>長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	0人 (0%)	10人 (90.9%)	1人 (9.1%)
(主な就職、業界等) ダンススクール、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 認定ダンス指導員、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	K-POP エンタテイメント科 (K-POP ダンス&ヴォーカルコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年		1,833 単位時間/単位	369時 間	348時 間	1116時 間	-	-
			1833 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		32人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。	
成績評価の基準・方法	

(概要)  
 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。  
 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。  
 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。  
 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

卒業・進級の認定基準

(概要)  
 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。  
 詳細は学生の手引き P14 に記載。

●進級認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
  - 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚)  
(就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
  - 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得
- 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

学修支援等

(概要)  
 ■クラス担任制 有  
 ■個別相談・指導等の対応  
 長期欠席者への指導等の対応  
 補講授業、課題提出

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5 人 (100%)	0 人 ( %)	5 人 (100%)	0 人 (%)

(主な就職、業界等)  
 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界

(就職指導内容)  
 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等

(主な学修成果 (資格・検定等) )  
 韓国語能力検定、Illustrator 検定、Photoshop 検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	3人	15%
(中途退学の主な理由) 進路変更・精神疾患のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	K-POP エンタテインメント科 (K-POP ビジネスコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,833 単位時間/単位	369時 間	348時 間	1116時 間	-	-
			1833 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		16人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高いアーティストを音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法 (概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上

2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入  <b>●卒業認定条件</b> 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入 学修支援等
（概要） <b>■</b> クラス担任制 有 <b>■</b> 個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	1人 (100%)
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 韓国語能力検定、Illustrator 検定、Photoshop 検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音楽ビジネス科 (コンサート・ライブスタッフコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,833 単位時間/単位	369時間	348時間	1116時間	-	-
	1833 単位時間						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	15人	0人	1人	5人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得
4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等

(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	1人 (5%)	19人 (95%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) イベント制作会社、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) Illustrator 検定、Photoshop 検定、簿記検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	音楽ビジネス科 (アーティストマネージャーコース)	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,833 単位時間/単位	369時間	348時間	1116時間	-	-
			1833 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	5人	0人	1人	5人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
---------------------------

<p>(概要)</p> <p>専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率85%以上</li> <li>2、成績評価が全てD以上</li> <li>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol> <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率85%以上</li> <li>2、成績評価が全てD以上</li> <li>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)</li> <li>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得</li> </ol> </li> <li>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	1人 ( 33.3%)	2人 ( 66.7%)	0人 ( 0%)
(主な就職、業界等) イベント制作会社、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			

(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等
(主な学修成果(資格・検定等)) Illustrator 検定、Photoshop 検定、簿記検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音楽ビジネス科 (ラジオ・映像クリエイターコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,833 単位時間/単位	369時間	348時間	1116時間	-	-
	夜間		1833 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		3人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P14 に記載。</p> <p>●進級認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</li> <li>2、成績評価が全て D 以上</li> <li>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol> <p>●卒業認定条件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</li> <li>2、成績評価が全て D 以上</li> <li>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 <ol style="list-style-type: none"> <li>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)</li> <li>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</li> </ol> </li> <li>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</li> </ol>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3 人 (100%)	0 人 (%)	3 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)
(主な就職、業界等) イベント制作会社、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) Illustrator 検定、Photoshop 検定、簿記検定、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)  
 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	音響・照明科 (PA音響エンジニアコース)	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数  1,833 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年			369時間	348時間	1116時間	-	-
			1833 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50人		24人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)

(概要)

専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。

成績評価の基準・方法

(概要)

成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。  
 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。  
 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。  
 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。詳細は学生の手引き P14 に記載。

●進級認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率85%以上
- 2、成績評価が全てD以上
- 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率85%以上
- 2、成績評価が全てD以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得

3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得
4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 （100%）	0人 （0%）	11人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 音響・照明会社、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 舞台・テレビジョン照明技術者2級、舞台調整技能士、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21人	1人	4.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更・精神疾患のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	音響・照明科 （照明エンジニアコース）	○	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,833 単位時間/単位	369時間	348時間	1116時間	-	-
			1833 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		

50人	14人	0人	1人	5人	6人
-----	-----	----	----	----	----

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。	
●進級認定条件	
1、年次の授業全体の出席率 85%以上	
2、成績評価が全て D 以上	
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入	
●卒業認定条件	
1、年次の授業全体の出席率 85%以上	
2、成績評価が全て D 以上	
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得	
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）	
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得	
4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入	
学修支援等	
（概要）	
■クラス担任制 有	
■個別相談・指導等の対応	
長期欠席者への指導等の対応	
補講授業、課題提出	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 (100%)	0人 ( 0%)	8人 ( 100%)	0人 ( 0%)

(主な就職、業界等) 音響・照明会社、音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等
(主な学修成果(資格・検定等)) 舞台・テレビジョン照明技術者2級、舞台調整技能士、ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	サウンドクリエイター科 (レコーディングエンジニアコース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数  1,871 単位時間/単位	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年			369時間	348時間	1154時間	-	-
			1871 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		2人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の

結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。  
なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

#### 卒業・進級の認定基準

(概要)

卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。  
詳細は学生の手引き P14 に記載。

##### ●進級認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

##### ●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
  - 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚)  
(就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
  - 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得
- 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

#### 学修支援等

(概要)

- クラス担任制 有
- 個別相談・指導等の対応  
長期欠席者への指導等の対応  
補講授業、課題提出

#### 卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (%)	3人 (100%)	0人 (%)

(主な就職、業界等)

レコーディングスタジオ、音楽業界

(就職指導内容)

担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等

(主な学修成果(資格・検定等))

ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等

(備考) (任意記載事項)

2018年度サウンドクリエイター科としての卒業生がないため、上記のような内容となっております。

#### 中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率

7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	サウンドクリエイター科 (作曲・編曲コース)	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,871 単位時間/単位	369時間	348時間	1154時間	-	-
			1871 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		13人	0人	1人	6人	7人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率 85%以上
2、成績評価が全て D 以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件
1、年次の授業全体の出席率 85%以上
2、成績評価が全て D 以上

3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等） レコーディングスタジオ、音楽業界を目指す			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項） 2018年度サウンドクリエイター科としての卒業生がないため、上記のような内容となっております。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	英語エンタテインメント科 （英語&ダンスコース）	○	-			
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,871	369時間	386時間	1116時間	-	-

	間	単位時間／単位		1871 単位時間		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人	0 人	0 人	1 人	5 人	6 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）					
（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。					
成績評価の基準・方法					
（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。					
卒業・進級の認定基準					
（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。					
●進級認定条件					
1、年次の授業全体の出席率85%以上					
2、成績評価が全てD以上					
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入					
●卒業認定条件					
1、年次の授業全体の出席率85%以上					
2、成績評価が全てD以上					
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得					
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）					
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得					
4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入					
学修支援等					
（概要）					
■クラス担任制 有					
■個別相談・指導等の対応					
長期欠席者への指導等の対応					
補講授業、課題提出					

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界を目指す			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2019年度新設学科のため卒業生がおりません。また、在籍者もいないため、上記のような内容となっております。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	英語エンタテイメント科 (英語&ヴォーカルコース)	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼 間	1,871 単位時間/単位	369時 間	386時 間	1116時 間	-	-
			1871 単位時間				
生徒総定 員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	0人	0人	1人	5人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。

なお出席率 80%未満の科目も E(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

**卒業・進級の認定基準**

(概要)  
卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。  
詳細は学生の手引き P14 に記載。

●進級認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
  - 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚）  
（就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）
  - 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得
- 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

**学修支援等**

(概要)

- クラス担任制 有
- 個別相談・指導等の対応  
長期欠席者への指導等の対応  
補講授業、課題提出

**卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）**

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)	0 人 (%)

(主な就職、業界等)  
音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界を目指す

(就職指導内容)  
担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等

(主な学修成果（資格・検定等）)  
ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等

(備考) (任意記載事項)  
2019 年度新設学科のため卒業生がおりません。また、在籍者もいないため、上記のような内容となっております。

**中途退学の現状**

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
----------	----------------	-----

0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	英語エンタテインメント科 (英語&ミュージシャンコース)	○	-		
修業 年限	昼 夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼 間	1,871 単位時間/単位	369時 間	386時 間	1116時 間	-	-
			1871 単位時間				
生徒総定 員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		0人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件 1、年次の授業全体の出席率 85%以上 2、成績評価が全て D 以上

3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる） 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等） 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界を目指す			
（就職指導内容） 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
（備考）（任意記載事項） 2019年度新設学科のため卒業生がおりません。また、在籍者もいないため、上記のような内容となっております。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	英語エンタテイメント科 （英語&音楽ビジネスコース）	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼 間	1,871 単位時間／単位	369時 間	386時 間	1116時 間	-	-
			1871 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
20人	0人	0人	1人	5人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。
●進級認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件
1、年次の授業全体の出席率85%以上
2、成績評価が全てD以上
3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回（2枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）
3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得
4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等
（概要） ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
------	------	-------------------	-----

0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界を目指す			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項) 2019年度新設学科のため卒業生がおりません。また、在籍者もいないため、上記のような内容となっております。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	研究科 (デビュー・プロ活動コース)	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	950 単位時間/単位	184時 間	174時 間	592時 間	-	-
			950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		5人	1人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法

(概要)  
 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。  
 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。  
 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。  
 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。

卒業・進級の認定基準

(概要)  
 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。  
 詳細は学生の手引き P14 に記載。

●進級認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

●卒業認定条件

- 1、年次の授業全体の出席率 85%以上
- 2、成績評価が全て D 以上
- 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得
  - 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回 (2 枚)  
(就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる)
  - 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得
- 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入

学修支援等

(概要)  
 ■クラス担任制 有  
 ■個別相談・指導等の対応  
 長期欠席者への指導等の対応  
 補講授業、課題提出

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2 人 (100%)	1 人 ( 50%)	1 人 ( 50%)	0 人 ( 0%)

(主な就職、業界等)  
 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界

(就職指導内容)  
 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等

(主な学修成果 (資格・検定等) )  
 ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	研究科 (インストラクターコース)	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	950 単位時間/単位	184時間	174時間	592時間	-	-
			950 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		0人	0人	1人	5人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。	
成績評価の基準・方法 (概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。	
卒業・進級の認定基準 (概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。	

<p>●進級認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p> <p>●卒業認定条件</p> <p>1、年次の授業全体の出席率 85%以上</p> <p>2、成績評価が全て D 以上</p> <p>3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得</p> <p>3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低 2 回（2 枚） （就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる）</p> <p>3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の 1 つ以上の取得</p> <p>4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>■クラス担任制 有</p> <p>■個別相談・指導等の対応</p> <p>長期欠席者への指導等の対応</p> <p>補講授業、課題提出</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 人 (100%)	0 人 (%)	2 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	研究科 (就職・資格取得コース)	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	950 単位時間/単位	184時 間	174時 間	592時 間	-	-
			950 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	1人	0人	1人	5人	6人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 専門性の高い人材を音楽業界へ輩出すべく、実務経験豊富な教員による演習・実習の授業が中心となっている。4月～6月基礎、6月下旬～7月実習、9月～11月基礎・応用、12月～2月実習等。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価については、全学生に配布される「学生の手引き」に記載。 また、それぞれの科目ごとの評価基準については、各授業計画(シラバス)の「成績評価」に記載。 成績は、日頃の授業態度、出席率、科目終了時の試験等により総合的に判断し、成績はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。また試験等の結果、E(不可)評価となってしまった場合は追試験を受験しなければならない。 なお出席率80%未満の科目もE(不可)評価となり、追試験の受験が必要である。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業・進級の認定基準については下記条件を満たす者を進級または卒業認定とする。 詳細は学生の手引き P14 に記載。
●進級認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
●卒業認定条件 1、年次の授業全体の出席率85%以上 2、成績評価が全てD以上 3、オーディション等の参加又は卒業基準検定の取得 3-1、アーティスト系 オーディション又は音源作成を最低2回(2枚) (就職を目指す人はスタッフ系の条件に準じる) 3-2、スタッフ系 Word 又は Excel 検定どちらかの取得と専門検定の1つ以上の取得 4、授業料等の学費・諸費用・追試等料金の納入
学修支援等

(概要) ■クラス担任制 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 補講授業、課題提出
---

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
1人 (100%)	1人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 音楽プロダクション、TV・ラジオ局等の音楽・メディア業界			
(就職指導内容) 担任・就職相談室による個別面談、就職強化週の実施、校内音楽系企業説明会の実施、面接指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス著作権検定、社会人常識マナー検定、コミュニケーション検定、Word、Excel 検定の取得 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教務部と保護者との情報共有、産業カウンセラーの活用		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	設備費	維持費	合計
ヴォーカル科	70,000円	660,000円	380,000円	150,000円	1,260,000円
ミュージシャン科	70,000円	660,000円	380,000円	150,000円	1,260,000円
ダンス科	70,000円	660,000円	380,000円	150,000円	1,260,000円
K-POP エンタテイメント科					
K-POP ダン	70,000円	660,000円	380,000円	150,000円	1,260,000円

ス & ヴォーカルコース					
英語エンタテイメント科 英語 & ダンスコース 英語 & ヴォーカルコース 英語 & ミュージシャンコース	70,000 円	660,000 円	380,000 円	150,000 円	1,260,000 円
音楽ビジネス科	70,000 円	560,000 円	350,000 円	140,000 円	1,120,000 円
音響・照明科	70,000 円	560,000 円	350,000 円	140,000 円	1,120,000 円
K-POP エンタテイメント科 K-POP ビジネスコース	70,000 円	560,000 円	350,000 円	140,000 円	1,120,000 円
サウンドクリエイター科	70,000 円	560,000 円	350,000 円	140,000 円	1,120,000 円
英語エンタテイメント科 英語 & ビジネスコース	70,000 円	560,000 円	350,000 円	140,000 円	1,120,000 円
研究科	70,000 円	660,000 円	380,000 円	150,000 円	1,260,000 円
	円	円	円	円	円
修学支援（任意記載事項）					
NSG 無利子奨学金制度 NSG 母子家庭・父子家庭奨学金制度					

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校 HP「情報公開」にて公表 <a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 評価委員会メンバーは音楽プロダクション事業やライブハウス事業を手掛ける「柳都アーティストファーム」をはじめ新潟県内の音楽系企業の役員、音楽業界で活躍している本校卒業生により 5 名で構成される。 評価の内容については、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生募集状況、財務状況、法令等遵守、社会貢献・地域貢献について評価をし、次年度の学校運営の改善につなげていく。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 柳都アーティストファーム	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業代表取締役
株式会社 柳都アーティストファーム	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業役員
株式会社 エヌトライブ	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	企業代表取締役
Dance Presentation UNITY	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	代表
作曲家(フリーランス)	平成 30 年 4 月 1 日～ 令和 2 年 3 月 31 日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校 HP「情報公開」にて公表 <a href="http://show-net.jp/information.html">http://show-net.jp/information.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://show-net.jp/">http://show-net.jp/</a>
--